

第18回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」議事録

■開催日時：令和5年8月4日（金）10：30～12：00

■開催場所：TKP ガーデンシティ京都タワーホテル9階【飛雲】
（京都府京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町 721-1）

■委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）web 参加
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授）
野村 良一（立命館大学経済学部経済学科 教授）
服部 敦（国立研究開発法人土木研究所 河道保全研究グループ長）web 参加
◎深川 良一（立命館大学理工学部 特命教授）

◎印は委員長（50音順・敬称略）

■オブザーバー：滋賀県・京都府・大阪府・三重県・関西電力株式会社

■議事概要：

委員会は委員5名全員の出席により、事務局から大戸川ダム建設事業、丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について、事業概要、事業進捗状況、コスト縮減項目等の説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。また今後の委員会においては、事業費の増減だけでなく維持管理の増減や早期の整備による効果発現についても整理されたいとのご意見を頂いた。

■大戸川ダム建設事業について

（委員の主な意見）

1. 事業概要（意見なし）
2. 事業の進捗状況（意見なし）
3. コスト縮減項目（意見なし）
4. 本事業への助言
 - ・水理模型実験の実施にあたっては、目的を明確に設定し実施されたい。また、排砂設備に影響を及ぼす流砂の管理については、引き続き淀川水系総合土砂管理検討委員会などの議論も踏まえて検討を進めること。
 - ・今後適切な事業監理を行うため、調査設計等の進捗に合わせ、事業費・工期に影響を及ぼす要因について本委員会において報告し、委員からの助言を得ながら進めること。

■丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について

（委員の主な意見）

1. 事業概要（意見なし）
2. 事業の進捗状況（意見なし）
3. コスト縮減項目（意見なし）
4. 本事業への助言（意見なし）

また、天ヶ瀬ダム再開発事業、川上ダム建設事業について事業完了に伴う総括報告を行った。両事業の報告内容については、相互の記載内容を調整のうえ、最終的な公表資料としてとりまとめるようご意見を頂いた。

■天ヶ瀬ダム再開発事業について

（委員の主な意見）

- ・コスト増加とコスト縮減の要因について、それぞれの具体的な内容が分かるよう工夫すること。
- ・今後、実施する事業では、設計段階において入念な地盤・地質調査を実施することで、着工後の大幅なコスト増加とならないよう留意すること。

■川上ダム建設事業について

（委員の主な意見）

- ・特に意見なし。

（以上）